

やよい句会 令和五年 代表句

一月

書き初めの文字鮮やかに墨香る

信

三が日静かな音の中に過ぎ

晴代

寒の入り深夜のラジオ枕辺に

鉄夫

どんど焼き炎が高く神動く

雅俊

二月

冬ばらの紅さりげなくコーヒー店

信

梅林の見上げ見下ろし三分咲き

晴代

早春の何かむなしき今日このごろ

鉄夫

節分の豆をかじったももは天

雅俊

三月

一斉に草樹彩づく春の山

信

春一日旅の心地の巴水展

晴代

野良仕事手間のはかどる四温かな

鉄夫

酒蒸しの浅蜷でワイン恙なし

雅俊